

のクオリティは飛躍的に高められたが、決して、コンフォタブルな感覚を犠牲にはしなかった。



トップレベルの加速性能とともに、マイルドな居住感をも用意している。エレディZは、VG型ターボエンジンの搭載によって、世界の超高性能車である、すぐれた動力性能を獲得している。量産のスポーツカーとしては、文最強のポテンシャルを実現できたといつてもよいだろう。たとえば、そのクルマはかかる目やすでもあり、またスポーツデータでもある「パワーウェイトレシオ」でもある。「パワーウェイトレシオ」は、車重にかかる马力を示す指標で、車重が重いほど、馬力が大きいほど、この値が大きくなる。この値が大きい車は、車重に対する駆動力が大きい車である。車重が重い車は、駆動力が大きい車である。車重が重い車は、駆動力が大きい車である。

●パワーウェイトレシオ比較図

	6	7	8	(kg/ps)
ニューエリザベス (200ZXターボ)	5.8			
従来型Z (L28E)			5.2	
外國A車 (4.5t)			6.0	
外國B車 (3.3t)			7.5	

●パワーウェイトレシオ比較図

	1	2	3	4	5	6	(秒)
ニューエリザベス (VG30ターボ)	4.4						
従来型Z (L28E)				5.5			
外國A車 (4.5t)				5.5			
外國B車 (3.3t)				5.5			

スポーツカーは6.0kg/psである)いかにもニューアルゼのスポーツ度が「高いものであるか」と如実に証明されているといつてもよいだろう。したがって、当然のこと、ニューアルゼは、加速性能においてもすぐれた数字を記録する。そのクルマの加速力を語る0→100km/h発進加速では、何と6.2秒という速さをマーク(2シーター、3000cc車)。従来型Zは8.9秒)。さらに追越性能を示す区间 加速<40→60km/h>では、従来型Zを約1秒上回る4.4秒、<80→100km/h> 加速では、実に従来型を約2秒、前出の西独スポーツカーを約1秒引き離し、3.4秒という

すばらしい加速力を示している。まさにニューアルゼの高性能ぶりには、世界最速を誇る欧洲の名車たちも、道をゆづるだろうと思われるほどである。だが我々は、ニューアルゼに、決して速さだけをあてたのではなかった。確かにクルマにとって速さはファンタスティックな爽快感を生み、また、アクシデントを未然に防ぐ余裕性能ともなる。しかし、ニューアルゼは、速さに加え、操縦安定性と快適性にも十二分に意を払って登場している。世界初の3段切換3ウェイアジャスタブルショックアブソーバーの採用もその一つである。これは路面の状態に応じてショックアーバーの減衰力を3段階に選択できる画期的なシステムである。もちろん、ショックアーバーの特性を「Hard」(高い減衰力)、「Medium」(中間の減衰力)、「Soft」(低い減衰力)の3段階に分け、路面の状況とドライバーの乗り味の好みによって、自由に選択、最適の減衰力が得られる世界初の先進的設計である。路面にあつたベストフットワークが選択できると同時に、快適性を選べるという、かなりぜい沢な装置を、ニューアルゼは用意しているといえるわけである。



**FAIRLADY
2BY2**

PHOTO: ZS (アルミロードホイールと215/60R15 50D
タイヤ、アクセントタイプ、マッドガード)